

小倉城・しろテラスにおけるビックデータを活用した 観光振興に関するデータ分析結果について

北九州市及び株式会社NTTドコモは、「5G、ビックデータの活用によるSDGs達成に向けた連携協定」に基づき、令和2年2月よりdポイントクラブ会員情報、GPS・基地局における位置情報などのビックデータを活用した来訪者属性、及び施設における利用分析を実施しました。

これまで、小倉城等の施設（※1）における来訪者調査は、アンケートや目視等で行っており、その属性情報は、性別のみに限られておりました。今回、ビックデータを活用した分析により、来訪者の詳細な属性（居住地や家族構成等）、またdポイント利用情報分析により、施設毎の購買情報等の把握が可能となりました。

今後北九州市では、根拠データに基づく政策立案（Evidence Based Policy Making：EBPM）の実現にむけて、引き続き株式会社NTTドコモと連携しながら、ビックデータの更なる活用を検討し、地域における関係人口の拡大促進や観光振興等に取り組んでまいります。

※1 小倉城、しろテラス及び小倉城庭園等

北九州市・株式会社NTTドコモ

－ 主な分析結果（サマリー） －

【来訪者属性分析】

- ◆小倉城・しろテラス及びその周辺（以下、対象エリア）における来訪者は、30代～50代が最も多かった
- ◆来訪者の居住都道府県は、福岡県が最も多く、続いて山口県、東京都となった
- ◆対象エリアの来訪者の同居属性では、配偶者38.0%と最も多く、続いて子どもありが25.2%となった
- ◆小倉城来訪者でdポイントを利用した年代は、40代及び50代が最も多く、居住地は福岡県24.8%、東京都8.6%、神奈川県7.2%、大阪府5.8%であった
- ◆しろテラス来訪者でdポイントを利用した購買者は、休日及び平日ともに40代が最も多く、購買金額は500円～1,000円が最も多かった

【市内・市外回遊分析】

- ◆対象エリアの来訪者が利用する飲食店は、小倉駅周辺が多く、少し離れたエリアでは、門司・下関エリアであった
- ◆小倉城来訪者の夜間滞在場所は、小倉城周辺が多く、続いて八幡駅周辺エリアとなった
- ◆対象エリア来訪者の他スポット回遊状況では、小倉城のすぐ北にあるリバーウォーク北九州が39.0%と最も多く、福岡天神が13.0%、門司港レトロ10.0%という結果になった。県外では、唐戸、広島市、別府等が確認された

※本分析は試行的に行ったものであり、本報告書に記載された分析結果は、北九州市及び株式会社NTTドコモに許可なく引用、転載することはご遠慮いただきますようお願いいたします。